

第九中学校・中央中学校統合委員会 会議録

第 1 4 回

開 催 日 時	平成 23 年 5 月 30 日(月) 午後 6 時 31 分～8 時 27 分	
開 催 場 所	区役所 第 1 0 会議室	
出席者	委 員	望月清次、高橋登志子、折原烈男、佐藤富代、北村博、森居心み子、濱本敏典、増田眞一、吉田眞知、南直也、小林幸子、山口廣子、田中一夫、角田恵子、上村広美、染谷孝一郎、村山智江、山田隆、矢口仁、鳥海重年、堀江清、佐藤豊、吉村恒治、中井豊 (敬称略、順不同)
	そ の 他	
	事 務 局	学校再編担当
傍 聴 者	1 人	
会 議 次 第	【議事】 1 校章の検討について 2 校歌の検討について 3 その他	

第14回 第九中学校・中央中学校統合委員会 会議録 要旨

1 開 会

委員長

これより第14回の統合委員会を開会する。

傍聴を希望される方が1名いる。傍聴を許可したいと思うが、よろしいか。

— 異議なし —

委員長

議事に入る前に、委員の変更があったので事務局から報告をお願いする。

■統合委員会の委員の変更について

- ・人事異動等に伴った統合委員会委員の辞職及び新委員の委嘱について、事務局より報告
(辞職者2名)

中央中学校PTA若林由紀恵委員、前第九中学校校長宮下彰委員

(新委員3名)

中央中学校PTA小林幸子委員、第九中学校校長矢口仁委員、教育委員会副参事(子ども教育施設担当)中井豊委員

※委員の辞職は3月31日付、委嘱は4月1日付となっている。

- ・新委員の紹介(自己紹介)

2 議 事

議事(1)校章の検討について

委員長

それでは、議事に入る。

最初に(1)校章の検討についてである。統合する両校と、両校の通学区域内の小学校を通じて校章デザインの募集を行ったが、その結果について、事務局より報告をお願いする

■「校章デザインの募集結果」について、事務局より説明

(概要)

〈校章デザインの募集結果について〉

- 校章デザインについては、第九中学校と中央中学校の生徒、保護者、教職員と両校の通学区域内の小学校6校（桃園第二、谷戸、啓明、新井、桃花、平和の森）の5・6年生とその保護者、教職員に学校を通じて応募用紙を配付し、回収した。その結果、190点の応募作品が集まった。
- 応募作品についての説明が記入してある作品、応募作品についての説明がない作品で分けて資料を作成している。
- 今後は、募集結果（応募された作品）をもとに、統合新校の校章について協議を進めていただき、最終的には9月ごろまでに統合新校の校章を完成させていきたい。また、応募された手書きのデザインをそのまま校章とすることは難しいので、デザイン化を専門家に依頼することを考えている。

委員長

では、資料に関して、質問があればお願いしたい。

委員

この資料の応募作品の順序は、単純に応募順なのか。

事務局

応募順ではなく、桜を使用しているもの、中野区のマークを使用しているもの等を事務局で分類しているが、特に順番に意味はない。

委員

現在の九中と中央中の校章には由来があるわけだが、応募作品のうち、デザインだけで説明がないものについては、応募者の意図がよくわからない。こちらで説明を考えるのか。

事務局

そのようになる。デザインを考えていただいた方の説明を入れる方法もあるが、校章を決めてから、校章の由来を考えていくということもある。

委員長

本日の統合委員会の前に、応募結果の資料を送っているのですが、資料については目を通して頂いていると思うが、190点という応募作品の中から、校章を選定していくこととなる。本日は、専門家にデザイン化を依頼していく作品を選定していきたいと思うが、皆さんの意見をお聞かせ願いたい。

委員

校名を決めたときのように、各委員が三つ選ぶなど、投票をして絞り込めばよいと思う。

委員長

まずは、候補数を絞って、それからまた協議を進めていくという方法か。

委員

そうである。何段階かに分けてその作業をすればいいものが選ばれていくのではないか。

委員長

最終的にはそういう方法になると思うのだが、桜を使った方がいいのかとか、横文字がいいのか、「N」がいいのか、「中野」がいいのか、「中」を使ったものかいいのか。そういった検討

も必要ではないか。

委員

現在の両校の校章は、桃の花を使っているが、今回の応募作品は、桜をイメージして作成したデザインが多い。

委員

今は、桃の花より、中野通りの桜のイメージが強いため、子どもたちはそろって桜をモチーフにしているのだと思う。

委員

桜を基調にしているとか、アルファベットを基調にしているとか、そういうブロック分けをしてから、数点ずつ選ぶのが良いのではないか。

委員長

例えばそれが「中」の一文字のブロックとか、「中野」のブロック、アルファベットのブロック、それと「中野中」のブロックとか、そういうのもいいと思う。

委員

両校の校章から見ても、「中」という字が真ん中に入っているというのは無難なところなのかなという感じがする。それと、実際にはもっと小さいものとしても使う、ということも考えたほうがよいかと思う。

委員

校章は、どこの中学校かわかるようなものがいいと思う。

委員

全体が190点でかなり多いので、例えば一人10点くらいを選ぶなどして、まずは応募作品の数を絞って、その中で協議するとよいと思うのだが。

委員

これだけ大勢の委員がいるわけだから、一人があまり数多く選ぶと、まとめていくのも大変である。一人3点くらい選べば絞り込んでいけると思う。

委員

本日、出席の委員は24名だから、最大3個ずつ書けば72点ぐらいに絞り込むことができる。同じデザインに投票する方がいた場合には、もっと数は少なくなるはずである。

委員

絞り込みをした後に、コンセプトとかそういうことを、ある程度ここで話し合うということでのよいか。そうしないと単なる人気投票になってしまう。

委員長

まずは、候補数を絞って、それから協議を進めていくということである。

それでは、まず3点以内で選んでいただき、投票を行うということでのよいか。

— 異議なし —

— 校章デザインの投票・集計 —

委員長

それでは、投票結果について事務局より報告願う。

事務局

190点の中から委員に三つ以内で選んでいただいた結果を報告する。

2番8票、4番1票、5番5票、7番3票、8番6票、10番15票、14番1票、25番1票、26番1票、28番4票、34番1票、88番1票、99番1票、115番2票、117番1票、131番6票、132番2票、133番2票、137番2票、186番1票、188番2票、という集計結果である。校章デザイン候補としては21点となる。

委員長

投票の結果、候補は21点となったが、これらのデザインについて、ご意見を伺いたい。

委員

統合委員会として、校章に対するコンセプトというのを決めていかないと、最終的に選ばれたデザインの説明が、そのまま校章の由来ということになるのではないかと。そうでなければ、選ばれたデザインを見て、後からイメージして校章の由来を考えていくことになっていくのか。

委員

作品の説明やデザインを見て、新しい学校のイメージをみなさんも考えたのではないかと。それを発言していけば校章の由来としての協議が進むと考えられる。そうでなければ選んだ校章について、後づけになるのだが学校のイメージを作っていくことになる。

委員

新しい学校づくりをしていく上で、学校のイメージや学校のシンボルとしてコンセプトがあると思うが、デザインで選ばれた校章に、後からその由来を考えていくことでよいのだろうか。

委員

新しい学校の校訓として考えている創造、共生、自律、そういったものが象徴的にあらわれるような校章であって欲しいと思う。未来へ新しく広がっていくような、将来へ広がるイメージというのがあればいいと思う。

委員

以前、新しい学校の教育理念などについて説明があったが、現状だと校章には反映されていないように見える。今のところは、生徒や保護者の方がデザインとして応募してくれたものなので、教育理念などが反映されていないが、それでいいのかどうかである。

委員

やはり校歌とか校章には、教育理念や未来へ向かうという理念が反映したものが望ましいと思う。

委員

校章は、桜とか桃とか、そういった何かを象徴するような形をとったものが多いが、これからの学校は地域の中の学校であり、学校・家庭・地域を象徴するように、校章でも表現したいと思う。また抽象的ではあるが、教育目標を理念化したようなものであるとよい。

委員

もともとデザインというものの自体が、見た人によってそれぞれ印象が違ってくると思う。今、議論している未来だとか、創造、共生、自律などは、言葉でいうと非常に抽象的なものなので、デザインだけを見て選んだほうが、結果としては良い校章になるのではないかと。

委員

各委員が見ていいと思うものを、もう一回一つずつ投票してみてもどうか。

委員

一つずつでは少ないかと思う。二つずつ選んでどうか。

委員長

先ほど選定された21点のデザインの中から、各委員二つずつ選んで投票するということだがどうか。

委員

「131番」「132番」「133番」というのはある程度デザイン化されているので、専門家にデザイン化を依頼する中に入れなくてもよいと思う。他の三つぐらいを専門家に依頼し、その後「131番」「132番」「133番」とあわせて議論するのはどうか。

委員

投票の対象から外して、候補として残しておくということか。

事務局

他の統合委員会においても同様のことがあった。ある程度デザイン化されているものについては、専門家にデザイン化を依頼する対象から外した。そして、それ以外の手書きのものから3、4

点を選定して専門家にデザイン化を依頼し、出来上がったものと合わせて、その後の検討を行った。

委員長

今、事務局からも説明があったが、「131番」「132番」「133番」は候補として残しておき、投票の対象から外すということでよろしいか。

— 異議なし —

委員長

それでは、その他の18点から各委員に二つずつ選んでいただき投票するというでよろしいか。

— 異議なし —

— 校章デザインの投票・集計 —

委員長

それでは、投票結果について事務局より報告願う。

事務局

2番6票、5番3票、7番1票、8番7票、10番9票、28番3票、88番3票、115番4票、137番2票、186番1票、188番1票という集計結果になった。

委員長

このような結果になったが、皆様のご意見をいただきたい。

委員

上位3点の得票が、他と比較して多いので、この3点で良いのではないか。

委員

今の上位3点の2番、8番、10番というのが、三つとも桜をモチーフにしたデザインのようにある。これから専門家にデザイン化を依頼するものについては、もし4点でもよければ115番の4票というのが桜でないデザインであり、入れてもいいかと思う。

委員長

それでは、ただいま委員からご意見があったが、115番を追加し、2番、8番、10番、115番、この4点を専門家にデザイン化してもらうことでよろしいか。

— 異議なし —

委員

質問だが、デザイン化されるものには色がつくのか。

事務局

校章に色をつけるかつかないかということは、これからの議論になるが、選ばれたデザインに色はついていないので、現段階では、色なしで作成されるようになる。

委員長

ある程度デザイン化されているため、残して置いた「131番」「132番」「133番」の3点と合わせて7点を候補として、7月の統合委員会で協議を進めていくことになるので、よろしくお願います。

それでは、校章についてはよろしいか。

— 異議なし —

議事(2)校歌の検討について

委員長

次の議事に移る。

校歌の検討についてである。校歌に入れたい言葉等の募集結果について事務局から報告をお願いする。

■校歌に入れたい言葉等の募集結果について事務局より説明

(概要)

○校歌の歌詞に入れたい言葉の募集も、校章デザインの募集と同様に行った結果、197件、279種類の応募があった。

○参考に、第九中学校または中央中学校校歌の歌詞にもある単語・フレーズにアンダーラインを引いている。

○この募集結果を校歌の作詞者に参考として渡すことになっているが、作詞者に渡す上で修正などの必要がないかどうかを確認してもらいたい。

委員長

ただいま事務局から報告があったが、質問や意見はあるか。

委員

先ほどの校章の場合は、学校が目指すものなどの言葉をデザインに表わしていくことは、非常に難しいことだと思うが、校歌に入れたい言葉ということであれば、学校が目指すもの、目指そうとしているものなどを、入れていったほうがいいと思う。

委員長

ここにあるもの以外に、皆さんがこういう言葉を入れてもらいたいというものがあったら、それは追加できると思う。

委員

逆に外したほうがいいものもある。両校の校歌の歌詞や、校歌にはふさわしくないような言葉も少し入っているような気がする。

委員

両校の校歌の歌詞にもある単語・フレーズということで、アンダーラインが引いてあるが、例えば、「はずむ」と「はずむボールよ」とある。「はずむ」は単語なので、これをカットすると作詞する方が難しくなると思う。「はずむボールよ」は、現在の校歌で使われている文節になっているので、これは削除していくとか、そういうような形でいいのではないか。

委員

両校の校歌の歌詞にある言葉でも、残していいものが当然ある。

委員

「明日」とか「輝く」「清らか」というのは校歌の歌詞には、かかわりのある言葉だと思う。

委員

そのような言葉は、外さなくてもいいと思う。逆によくわからない言葉を削除していけばよい。

委員

学校に対する思いというものも、盛り込んでいくべきではないかと思う。ただ、言葉だけ選んでいけばいいというものでもないような気がする。

事務局

校歌に入れたい言葉等の募集結果のみを作詞者に渡すのではなく、両校の学校要覧や両校の校歌、教育理念のようなものとか、そういったものを別にお渡しする予定である。

委員

両校の校歌も作詞家に渡すのであれば、これをそのまま渡しても削除すべきものは削除してもらえるのではないか。

委員

教育目標等の資料一式と現在の両校の校歌を渡し、両校の校歌を連想させるようなフレーズは

省いていただくということをコンセプトとしてお伝えし、お任せすればよいのではないかと。

委員長

今までの議論をまとめると、校歌の歌詞に入れたい言葉等をこのまま作詞家の方に渡し、これとあわせて両校の校歌、教育目標などの資料を渡す。両校の校歌を連想させるようなフレーズは省いていただく。校歌としてふさわしくないような言葉も、作詞家の判断にお任せするという形でよろしいか。

— 異議なし —

委員

現在の中央中の校歌をつくったときには、作詞家の方が学校に来て、生徒の話を聞いたり、周りの景色を見たり、そのようなことをしてイメージをつかんでいったというふうに聞いている。今回も作詞家の方が学校に来られて、地域を見たり、話を聞いたり、そういうことをするのか。

事務局

作詞家の方にそれぞれの学校に行っていていただいて、学校の雰囲気や教育目標をどのように考えているのかなど、学校で話を聞き、周りを見ながらイメージして、作成してもらいたいと考えている。

委員長

それでは次に、校歌の制作を依頼する作詞家・作曲家について協議する。どなたか思いつく方はいるか。いるならば、名前を挙げていただきたい。

事務局

両校からは、校長先生を通じて、作詞、作曲をお願いしたい方について推薦をいただいている。

— 推薦のあった作詞家・作曲家について、事務局から説明 —

委員長

他に皆さんからの推薦はないか。もし、ないようであれば、今、名前の挙がっている方の中から決めていくことになるがよろしいか。

— 異議なし —

委員長

制作を依頼する条件もあり、この場で1人に絞るのも難しいと思うので、実際にどなたに依頼するかについては、委員長、副委員長、両校校長、事務局での検討に一任していただきたいと思うがよろしいか。

— 異議なし —

議事(3)その他

委員長

標準服の細部について、学校を中心としたメンバーで検討してもらっているが、現在の検討状況について報告をお願いします。

委員

標準服については、プレザースタイルを選定したところであるが、リボンやネクタイの色・柄等について検討した。

基本的にリボンの方は、見本を幾つか並べると派手な感じもしたのだが、それだけ単独で見ると良い色だと思う。また、一回り小さいものも検討したが、大きいもののほうが制服に似合うと思ひ、結局はそのままでもいいだろうということで決まった。

それから、男子のネクタイは、ほかのストライプのものを幾つか比べて見たが、女子のリボン

の色と同じ色が入っていたほうがいいだろうということで、その色を一本入れてみたところ、若々しい感じがして良いデザインになった。それと、ネクタイにはワンポイントで柄が入るのだが、それを校章にしてはどうかとも考えている。基本の色は大体決まったような感じである。

細かいところでは、例えば男子のワイシャツを普通のワイシャツにしようかボタンダウンにしようかについて協議している。ただ、ボタンダウンにすると値段が高くなるということもあって、今話し合いを継続しているところである。

委員長

まだ、いろいろと決めなければいけないことがあるということか。

委員

細かくは指導上の問題なので、両校でまた話し合っていきたい。

委員長

それでは、標準服について何か質問はあるか。

ないようなので、次に移る。

委員長

それでは、次回の日程について、調整したいと思う。

— 日程調整 —

委員長

日程調整の結果、第15回統合委員会は7月15日午後6時30分から区役所で開催する。詳しい会場は開催通知で確認してほしい。

本日の統合委員会はこれで終了する。